

令和 7 年度

第 3 年次編入学学生募集要項
(社会人特別入試を含む)

文 教 育 学 部
生 活 科 学 部
(人間生活学科、心理学科)



お茶の水女子大学
Ochanomizu University

〒112-8610

東京都文京区大塚2丁目1番1号

Tel 03(5978)5151,5152(入試課)

HP <https://www.ao.ocha.ac.jp/>

※感染症等の影響により、入学者選抜方法等を変更することがあります。
その場合、上記ホームページにて周知します。

目 次

入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)	1
I. お茶の水女子大学のアドミッション・ポリシー	1
II. 学部のアドミッション・ポリシー	1
令和7年度 お茶の水女子大学 文教育学部 第3年次編入学 学生募集要項	2
お茶の水女子大学 文教育学部 履修概要	2
学科の受入方針	3
I. 一般入試	5
1. 募集人員	5
2. 出願資格	5
3. 出願手続	5
4. 選抜方法(一般入試・社会人特別入試 共通)	7
II. 社会人特別入試	8
1. 募集人員	8
2. 出願資格	8
3. 出願手続	8
4. 選抜方法(一般入試・社会人特別入試 共通)	9
令和7年度お茶の水女子大学 生活科学部 第3年次編入学 学生募集要項	10
お茶の水女子大学生活科学部(人間生活学科、心理学科)履修概要	10
学科の受入方針	11
I. 一般入試	12
1. 募集人員	12
2. 出願資格	12
3. 出願手続	13
4. 選抜方法(一般入試・社会人特別入試 共通)	14
II. 社会人特別入試	15
1. 募集人員	15
2. 出願資格	15
3. 出願手続	15
4. 選抜方法(一般入試・社会人特別入試 共通)	16
コンビニエンスストアでの入学検定料支払方法のご案内	17
合格発表等(文教育学部・生活科学部共通)	18
1. 合格者の発表	18
2. 入学手続	18
3. 個人情報及び試験成績の利用について	18
4. 注意事項	19
5. 大学案内の請求	19
6. 令和6年度第3年次編入学試験実施状況	20
7. 令和8年度第3年次編入学試験に関する変更の予告	20
奨学金、入学料減免、授業料減免、学生寮等	21
○お茶の水女子大学交通案内	23

入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

I. お茶の水女子大学のアドミッション・ポリシー

お茶の水女子大学は、学ぶ意欲のあるすべての女性の真摯な夢の実現の場であることを使命とし、幅広い教養と高度な専門性と実践力を身につけた女性リーダーの育成を目指しています。そのため不断に教育改革を進め、21世紀型文理融合リベラルアーツ教育の導入(平成20年度)に引き続き、平成23年度に複数プログラム選択履修制度を導入して新たな専門教育課程をスタートさせました。

お茶の水女子大学では、すべての女性が年齢・国籍などにかかわらず自立した女性として、生涯にわたって多様に活躍できるキャリア形成の場を提供しています。知的好奇心と探究心を抱き、勉学意欲に富んだ学生の入学を期待しています。

II. 学部のアドミッション・ポリシー

文 教 育 学 部	人間は、過去から現在に至るまで地球上のさまざまな地域で、言語をはじめとする文化や科学技術を創造し、政治、経済、教育などの諸社会組織を発展させてきました。人間と文化と社会を理解するためには、時間軸と空間軸の上に現代社会を位置づけ、マクロからミクロに至る多次元的なアプローチが必要です。 文教育学部は、人間と文化と社会に迫る、人文・社会系の総合的な学部です。人文科学科、言語文化学科、人間社会科学科、芸術・表現行動学科の4つの学科からなり、人文科学科、言語文化学科、人間社会科学科には複数の専門教育プログラム(主・強化・副・学際)が置かれ、また3つの学科が共同で設置するグローバル文化学プログラム(主・学際)が設けられています。また、4年一貫の専門教育プログラムとして、芸術・表現行動学科には舞踊教育学専修プログラムと音楽表現専修プログラムが設けられています。このような多彩なプログラムと少人数教育によって、専門的に深く、総合的に広く学ぶためのカリキュラムを用意しています。 文教育学部に3年次編入学を志望される皆さんには、これまでの専門を生かしつつ、文科系の科目はもちろん理数系の科目まで幅広く、同時にどん欲に深く学習されることを望みます。多様な領域でのリーダーを目指し、意欲と能力と個性に富んだ皆さんが志望されることを期待します。
理 学 部	理学部は、基礎科学の分野を研究対象として、主に自然界の原理や法則の追究を行うところです。 本学部は、数学、物理学、化学、生物学、情報科学の5学科からなり、少人数ゆえのきめ細かな指導により、高水準の教育・研究を行ってきており、数少ない女子大学の理学部として多くの有為な人材を養成してきました。最近ではさらに大学院に進む者も多く進学率は6割を超えています。 このような教育・研究の場に知的好奇心溢れる女性を受け入れ、次世代のリーダーあるいは中核となる人材を育成し、社会に輩出することを目指しています。 高等専門学校・短期大学の卒業生など他の高等教育機関で教育を受け、より高度な理学専門教育の機会を得て、さらなる高みへの飛翔を志す方を対象としており、志望者には、数学、物理学、化学、生物学、情報科学等を学び、自然科学の知識を習得することはもちろんのこと、論理的思考力を身につけるようにすること、筋道の立った文章が書けることなどが望まれます。
生 活 科 学 部	生活科学部は、人間生活における人間と環境との関係について、多角的な視点から見つめ直し、真のバランスの取れた人間の生活とは何かを探究する学部です。 現代は科学技術の発展や急速な経済成長により、物質的に豊かで、快適な生活を享受できるようになりましたが、その一方、急激な自然環境、社会状況の変化にともなう問題が噴出しています。こうした問題に対処するためには、自然科学、人文科学、社会科学の3つの視点から、多面的に問題を考える姿勢を養うことが必要とされます。 生活科学部はこうした要請に応えるために、食の科学と健康、人間と環境、人間生活と社会、人間生活と文化、心の科学と健康についての学科、およびプログラムが開設されています。また、それぞれのプログラムでは、少人数の実験・実習・演習により、個別的な教育を行うと同時に、社会生活で役に立つ資格等(栄養士免許、管理栄養士国家試験受験資格、一級建築士受験資格、公認心理師受験資格、家庭科教員免許など)の取得を促すカリキュラムも用意しています。 ただし、生活科学部では、それぞれの専門を深めるばかりでなく、文理融合の学部の特性を生かして、他の専門分野にも関心を持ち、多面的で総合的な視点から現実の人間生活の問題に取り組む力を持った、社会の多方面で活躍できる女性リーダーを育成することを目指しています。 したがって、3年次編入学を希望する皆さんには、希望する専門はもちろんのこと、幅広い見識を養うために、関連する他の領域にも熱心に取り組む意欲を期待します。

令和7年度お茶の水女子大学文教育学部第3年次編入学学生募集要項

お茶の水女子大学文教育学部では、広く社会に開かれたリフレッシュ教育の必要性、より高度の学習機会を求める女性の意欲の高まりに応えるため、下記のとおり、一般入試並びに社会人特別入試により、第3年次編入学学生の募集をしています。

本学部は、人文科学・社会科学(一部自然科学を含む)の諸領域にわたる多彩な専門的研究成果を、総合的な視野から教授し、社会の諸分野で活躍する人材の育成に努めることを教育の基本方針としています。

各学科が求める資質と能力を備え、強い学習意欲をもつ方々が、自己実現を目指した生涯学習の機会として利用されることを期待します。

お茶の水女子大学文教育学部履修概要

1. 履修方法及び課程の修了

- (1) 本学部の修業年限4年のうち、2年間は既に在学していたものとして通算し、入学後における修業年限は2年、在学することのできる年限は4年となります。
- (2) 卒業するためには、本学文教育学部履修規程に定めるところにより、124単位以上を修得しなければなりません。
- (3) 本学が行う「複数プログラム選択履修制度」において、文教育学部第3年次編入学学生は原則として、主プログラムと強化プログラムを履修するが、入学者の学習及び進路にとって有益であると認められる場合には、強化プログラムにかえて、副プログラム又は学際プログラムを履修することができます。(学部履修規程とともに、複数プログラム選択履修制度に関しては、以下を参照。)
https://www.ocha.ac.jp/campuslife/registration/index2023_d/fl/2023ug5_kitei.pdf(学部履修規程)
<https://www.ocha.ac.jp/campuslife/popp/index.html> (複数プログラム選択履修制度)
- (4) 本学のカリキュラム・ポリシーと、ディプロマ・ポリシーについては、以下を参照してください。
<https://www.ocha.ac.jp/program/index.html>
- (5) 入学する前に在籍していた大学等において既に修得した単位は、本学部の定める基準に従って、卒業に必要な単位として認定される場合があります。
- (6) コア(教養)科目及び専門科目等履修のため、3年以上在学しなければならない場合があります。
- (7) 卒業に必要な単位を修得した者については、学士(人文科学)の学位を授与します。

2. 募集学科等の授業科目

学科・主プログラム		主な専門教育科目
言語文化学科	日本語・日本文学	日本古典文学史論、日本近代文学史論、日本語学通論、日本文学概説 他
	中国語圏言語文化	中国語学概論、中国現代文学史、中国古典文学史、中国事情、中国文化論、中国文学古典講読 他
	英語圏言語文化	英文学史、英文学特殊講義、英語学特殊講義、対照表現学演習、英米文学演習、英語圏事情 他
	仏語圏言語文化	近代仏文学演習、現代仏文学演習、仏語圏言語文化論、フランス社会文化論 他
人間社会科学科	社会学	現代社会論、現代生活論、社会調査法、社会意識論、社会政策論、ジェンダー社会論、比較社会論 他
	子ども学	幼児教育学原論、幼児教育方法学概論、子ども社会学概論、幼児教育制度概論、保育内容総論(子どもと遊び)、子ども学フィールドワーク 他

※ 上記授業科目以外に、専門教育科目が多数開講されています。

学科の受入方針

【言語文化学科】

〔日本語・日本文学〕

すでに日本文学や日本語の研究の面白さを知り、さらに自分の力で新たな認識の世界を切り開きたいという人や、いつもどこかで日本文学や日本語のことを気にしつつ、これまでは別の道に進んでいたのが、遂に新たな一步を日本語・日本文学研究の道に記そうと考えた人の応募を待っています。特に、日本文学や日本語についての疑問をたくさんかかえ、それを積極的に追究していこうという意欲をもち、その疑問を友人や教員と共有できる人を望んでいます。

筆記試験では、基礎的な文章読解力と、日本語・日本文学についての基礎的知識の有無、及び課題に対して、自分なりの論理を組み立て、的確に表現する能力の有無を見ます。

口述試験では、質疑を通して、コミュニケーション能力や自己表現能力を見ます。

〔中国語圏言語文化〕

筆記試験と口述試験を課しています。筆記試験は現代語と古典語の読解が中心となります。私たちが要求するのは大学で2年間中国語を学んだレベルですが、実際には、合格するためにはかなり高度な読解力が要求されます。

口述試験では編入後の学習研究計画を中心に聞きます。編入生の場合是一般的に言って、他の学生よりも授業負担が大きいと、明確な展望がないときちんとした卒業研究ができないと考えるからです。

とは言え、私たちは決して「完成品」を求めているわけではありません。むしろ、他大学や他分野、社会人としての経験を生かして、中国語学や中国文学研究に取り組もうという意欲とビジョンに満ちた人、それによって他の学生にもよい刺激を与えてくれるような人を求めています。

〔英語圏言語文化〕

3年次編入試験は、まず1次の筆記試験(英語)において、思考力を含む基礎学力が十分かどうか調べ、さらに2次の面接により、専門課程で学習を深めるための適性を総合的に判断します。日頃から英語の高度な運用能力を身に付けるように努力するのはもちろん、英語や英語圏の文学・文化について、自分がこれからどんなことを学びたいのか、はっきりした問題意識を持ち、自らその課題を追究していくような意欲のある人を求めています。

〔仏語圏言語文化〕

フランス語圏の言語、文化や社会に強い関心を抱き、それを深く学びたいと思っている人、すでに大学を卒業して社会人としての生活を送っているが、再び大学に入ってこの分野を研究し、それを将来の新たなキャリアのために役立てたいと考えている人、おもにこのような意欲ある人たちが応募されることを期待しています。第1次選考の筆記試験では、フランス語の語学力(仏文和訳・和文仏訳)を見ます。第2次選考の口述試験では、日本語で志望動機や研究計画などを聞くとともに、フランス語による質疑応答を実施し、大学で専門的な学習を行うための適性やコミュニケーション能力を見ます。

【人間社会科学科】

〔社会学〕

社会学主プログラムでは、社会学の基礎的な理論と研究方法を体系的に学び、社会学理論や具体的な社会問題についての理論的・実証的な研究に取り組むことを通して、社会のさまざまな問題の解決に向けて自主的・積極的に取り組む能力を身につけることを目指しています。旺盛な好奇心と意欲に満ち、社会学の主と強化のプログラムによって集中的に社会学的な視点を修得しようとする学生の編入学を希望します。第1次選考では、書類審査と英語を含む専門試験によって基礎的能力の確認をします。第2次選考の口述試験では、志望動機、社会学的な問題意識や編入学後の展望などに関して総合的な評価を行います。

〔子ども学〕

子ども学プログラムでは、専門の基礎として、「子ども」や保育・幼児教育に関して、教育、発達、社会、歴史、文化など多様な観点から学びます。学内にある乳幼児のための施設(附属幼稚園、いずみナーサリー、こども園)等を活用し、子どもが育つ環境や子ども理解について実践的に考えることも可能です。「子ども」問題を主体的に考え、子どもと大人の関係性について探究する意欲のある方の入学をお待ちしています。第1次選考では書類審査、英語を含む専門試験によって基礎的能力の確認をします。第2次選考は口述試験により、志望動機や子ども学に関わる問題意識、入学後の計画や卒業後の展望などから総合的な評価を行います。

I. 一般入試

1. 募集人員

学 科	主 プ ロ グ ラ ム	募集人員(名)※
言語文化学科	日本語・日本文学	6
	中国語圏言語文化	
	英語圏言語文化	
	仏語圏言語文化	
人間社会科学科	社会学	4
	子ども学	

(注) 人文学科、人間社会科学科教育科学主プログラム、芸術・表現行動学科は募集を行わない。

※一般入試、社会人特別入試をあわせた数

2. 出願資格

次のいずれかに該当する女子とする。

- (1) 大学を卒業した者及び令和7年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 学校教育法(昭和22年法律第26号)に基づき設置された短期大学を卒業した者及び令和7年3月までに卒業見込みの者
- (4) 学校教育法(昭和22年法律第26号)に基づき設置された高等専門学校を卒業した者及び令和7年3月までに卒業見込みの者
- (5) 学校教育法(昭和22年法律第26号)に基づき設置された大学において、令和7年3月31日までに2年以上(休学期間を除く)在学し、62単位以上修得済み又は修得見込みの者(本学在学中の者については令和7年3月本学卒業見込みの者に限る。)
- (6) 外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。)
- (7) 外国において、学校教育における14年以上の課程を修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者

(注) 外国の学校に在籍している者又は外国の学校を卒業した者で、本選抜に出願しようとする者は、資格の確認のため、事前に入試課へ必ず問い合わせのうえ、**令和6年8月23日(金)**までに到着するよう審査書類を郵送してください。**期限までに到着しない場合は、出願を受理できません。**

3. 出願手続

(1) 出願期間

令和6年9月10日(火)から9月12日(木)まで【必着】

ただし、9月11日(水)以前の発信局消印のある書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理する。

(2) 出願方法

角形2号封筒に提出書類を一括して封入し、本学入試課ホームページの「学部募集要項」からダウンロード、印刷した封筒貼付宛名シートを貼り付けて、「書留速達」で下記宛てに郵送すること。

〔送付先〕 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号 お茶の水女子大学入試課

(注1) 検定料の支払い期限は、出願締切日の午前9時である。収納証明書又は受領書を提出書類に同封する必要があるため、期限に注意すること。

(注2)提出書類を受理したことを、志願者に通知はしない。提出書類の配達状況は郵便局の郵便追跡サービスで確認すること。

(注3)本学で出願を確認後、出願期間の最終日から3営業日以内に受験票と受験者心得を発送する。内容を確認の上、試験当日に必ず持参すること。

(3) 提出書類等

志願者名票・写真票・受験票※	本学所定の用紙
履歴書※	本学所定の用紙
志望理由書※	本学所定の用紙
卒業(見込)証明書 在学証明書 退学(在籍)証明書	左記のうちいずれか1通 退学(在籍)証明書については、在学期間が確認できるものであること。
成績証明書	出身大学等の長が作成したもの。
単位修得見込証明書	出願資格(5)に基づいて出願する者で、既修単位が62に満たない者は、62単位以上修得見込であることがわかる証明書を提出すること。 出身大学で作成していない場合は、履修登録科目一覧表等の単位数の記載されているものの写しや、62単位以上修得予定であることがわかる書類を自作して提出すること。 履修登録期間前の科目については、履修予定科目一覧表を提出すること。
外国語検定試験のスコア	下記を参照。
検定料 (収納証明書又は受領書)	30,000円(手数料別途) コンビニエンスストアでの払込に限る。支払方法については17ページを参照。「収納証明書」又は「受領書」は、志願者名票裏面に貼付すること。 払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。 1. 検定料を振込んだが本学に出願しなかった、又は出願が受理されなかった場合 2. 検定料を誤って二重に振込んだ、又は多く振り込んだ場合 検定料は出願者からの返還請求に基づき返還するので、上記の返還事由に該当する場合には、令和6年10月30日(水)までにお茶の水女子大学入試課に請求すること。(出願した後に受験を取りやめた場合は、返還事由に該当しない。)
宛名票(4枚)※	受験票の返送及び合格通知等の送付に使用するので、確実に連絡がとれる住所を記入すること。4枚全てに記入すること。

※志願者名票・写真票・受験票、志望理由書、履歴書、宛名票は、本学入試課ホームページの「学部募集要項」からダウンロード、印刷すること。

○外国語検定試験のスコアについて

言語文化学科	外国語検定試験(TOEFL、TOEIC、英検;HSK、中検;DELTA/DALF、TCF、仏検;独検)のスコア・級を持っている者は、その写しを提出すること。
人間社会科学科	外国語検定試験(TOEFL、TOEIC、IELTS、英検)のスコア・級を持っている者は、その写しを提出すること。

(注1)TOEFL、TOEICについては、団体特別受験制度(TOEFL-ITP、TOEIC-IP)のスコアは認めない。

(注2)仏検及びDELTA/DALFを除き、本学入学試験日から遡り2年以内に受験したものを有効とする。

(注3)TOEICについては、公式認定証(紙)の原本を提出することを原則とするが、A4判に印刷したデジタル公式認定証も有効とする。

(4) 受験上・修学上の配慮の事前相談について

- ① 本学に入学を志望する者のうち、心身に障がいあるいは疾病があり、受験上の配慮を必要とする者(点字又は代筆による解答を希望する者を含む)については、出願期間前に入試課に申し出いただき、令和6年8月23日(金)までに「受験上の配慮事前相談申請書」「医師の診断書」等をご提出ください。

なお、受験上の配慮を講じる必要はないまでも、修学上の不安等を感じる者も、同様に申し出てください。

- ② 本学の「学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、真摯な夢の実現の場として存在する」というミッションから、自身の性自認にもとづき、女子大学で学ぶことを希望する者を 2020(令和2)年4月入学者から受け入れることとしました。戸籍又はパスポートの性別と性自認が異なっている者については、入学後の学生生活をサポートするために、通称名や更衣室の使用などについて、あらかじめ情報を提供したいと考えていますので、令和6年6月28日(金)までに必ず入試課に申し出てください。その際に、「出願申出書」及び「住民票又はパスポートの写し」等を提出していただき、出願資格等の確認をいたしますが、申出によって、合否判定の際に不利に取り扱われることはありません。

4. 選抜方法(一般入試・社会人特別入試 共通)

学力検査(筆記試験)及び成績証明書等を総合して第1次選考合格者を判定し、第1次選考合格者に対し、第2次選考(口述試験)を行い、第1次・第2次選考の結果を総合して最終合格者を決定する。

○第1次選考(筆記試験) 令和6年10月5日(土)

学 科	主プログラム	試験科目	試験時間
言語文化学科	日本語・日本文学	日本語・日本文学の専門試験	10:00～11:30
	中国語圏言語文化	現代中国語・古典中国語	
	英語圏言語文化	英語	
	仏語圏言語文化	フランス語	
人間社会科学科	社会学	英語を含む専門試験	
	子ども学	英語を含む専門試験	

○第2次選考(口述試験) 令和6年10月30日(水) 10時30分～

Ⅱ. 社会人特別入試

1. 募集人員

文教育学部一般入試の募集人員(5ページ)を参照してください。

2. 出願資格

入学時までには社会人としての経験を3年以上有し、次のいずれかに該当する女子とする。

- (1) 大学を卒業した者又は学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)に基づき設置された大学に2年以上(休学期間を除く)在籍し、62単位以上修得した者
- (2) 学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)に基づき設置された短期大学を卒業した者
- (3) 学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)に基づき設置された高等専門学校を卒業した者
- (4) 外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者(学校教育法第 90 条第1項に規定する者に限る。)
- (5) 外国において、学校教育における14年以上の課程を修了した者

(注)外国の学校に在籍している者又は外国の学校を卒業した者で、本選抜に出願しようとする者は、資格の確認のため、事前に入試課へ必ず問い合わせのうえ、**令和6年8月23日(金)**までに到着するよう審査書類を郵送してください。**期限までに到着しない場合は、出願を受理できません。**

なお、入学時において現職のまま入学しようとする者は、入学手続の際に企業等の所属長が作成した入学承諾書(様式任意)を提出すること。

3. 出願手続

(1) 出願期間

令和6年9月10日(火)から9月12日(木)まで【必着】

ただし、9月11日(水)以前の発信局消印のある書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理する。

(2) 出願方法

角形2号封筒に提出書類を一括して封入し、本学入試課ホームページの「学部募集要項」からダウンロード、印刷した封筒貼付用宛名シートを貼り付けて、「書留速達」で下記宛てに郵送すること。

〔送付先〕 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号 お茶の水女子大学入試課

(注1)検定料の支払い期限は、出願締切日の午前9時である。収納証明書又は受領書を提出書類に同封する必要があるため、期限に注意すること。

(注2)提出書類を受理したことを、志願者に通知はしない。提出書類の配達状況は郵便局の郵便追跡サービスで確認すること。

(注3)本学で出願を確認後、出願期間の最終日から3営業日以内に受験票と受験者心得を発送する。内容を確認の上、試験当日に必ず持参すること。

(3) 提出書類等

志 願 者 名 票 ・ 写 真 票 ・ 受 験 票 ※	本学所定の用紙
履 歴 書 ※	本学所定の用紙
志 望 理 由 書 ※	本学所定の用紙。社会人としての活動(収入を伴わない活動を含む。)と関連させて志望動機を書くこと。
卒 業 証 明 書 退 学 (在 籍) 証 明 書	左記のうちいずれか1通 退学(在籍)証明書については、在学期間が確認できるものであること。
成 績 証 明 書	出身大学等の長が作成したもの。
在 職 証 明 書	在職中の者は在職証明書を提出すること。(様式は特に定めない。)

外国語検定試験のスコア	下記を参照。
検 定 料 (収納証明書又は受領書)	30,000円(手数料別途) コンビニエンスストアでの払込に限る。支払方法については17ページを参照。 「収納証明書」又は「受領書」は、志願者名票裏面に貼付すること。 払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。 1. 検定料を振込んだが本学に出願しなかった、又は出願が受理されなかった場合 2. 検定料を誤って二重に振込んだ、又は多く振り込んだ場合 検定料は出願者からの返還請求に基づき返還するので、上記の返還事由に該当する場合には、令和6年10月30日(水)までにお茶の水女子大学入試課に請求すること。(出願した後に受験を取りやめた場合は、返還事由に該当しない。)
宛 名 票 (4 枚) ※	受験票の返送及び合格通知等の送付に使用するので、確実に連絡がとれる住所を記入すること。4枚全てに記入すること。

※志願者名票・写真票・受験票、志望理由書、履歴書、宛名票は、本学入試課ホームページの「学部募集要項」からダウンロード、印刷すること。

○外国語検定試験のスコアについて

言語文化学科	外国語検定試験(TOEFL、TOEIC、英検;HSK、中検;DELTA/DALF、TCF、仏検;独検)のスコア・級を持っている者は、その写しを提出すること。
人間社会学科	外国語検定試験(TOEFL、TOEIC、IELTS、英検)のスコア・級を持っている者は、その写しを提出すること。

(注1)TOEFL、TOEIC については、団体特別受験制度(TOEFL-ITP、TOEIC-IP)のスコアは認めない。

(注2)仏検及び DELTA/DALF を除き、本学入学試験日から遡り2年以内に受験したものを有効とする。

(注3)TOEIC については、公式認定証(紙)の原本を提出することを原則とするが、A4 判に印刷したデジタル公式認定証も有効とする。

(4)受験上・修学上の配慮の事前相談について

文教育学部一般入試の出願手続(6ページ)を参照してください。

4. 選抜方法(一般入試・社会人特別入試 共通)

文教育学部一般入試の選抜方法(7ページ)を参照してください。

令和7年度お茶の水女子大学 生活科学部 第3年次編入学 学生募集要項

お茶の水女子大学生生活科学部では、社会における女性の地位向上と相まって要請されている、高度な学識と広い視野を持つ女子学生の育成を目指してきました。高等教育の多様化の一環として、既に社会人として活躍している方々のリカレント教育や、短期大学及び高等専門学校を卒業して、更に深い専門知識を求めようとする方々へ、より高度な生活科学の専門教育の機会を提供することがこの制度の趣旨です。

お茶の水女子大学生生活科学部(人間生活学科、心理学科)履修概要

1. 履修方法及び課程の修了

- (1) 本学部の修業年限4年のうち、2年間は既に在学していたものとして通算し、入学後における修業年限は2年、在学することのできる年限は4年となります。
- (2) 卒業するためには、本学生生活科学部履修規程に定めるところにより、124単位以上を修得しなければなりません。
- (3) 本学が行う「複数プログラム選択履修制度」において、生活科学部(人間生活学科、心理学科)第3年次編入学学生は原則として、主プログラムと強化プログラムを履修することとします。学部履修規程とともに、以下ホームページを参照してください。
https://www.ocha.ac.jp/campuslife/registration/index2023_d/fil/2023ug5_kitei.pdf(学部履修規程)
<https://www.ocha.ac.jp/campuslife/popp/index.html>(複数プログラム選択履修制度)
- (4) 本学のカリキュラム・ポリシーと、ディプロマ・ポリシーについては、以下を参照してください。
<https://www.ocha.ac.jp/program/index.html>
- (5) 入学する前に在籍していた大学等において既に修得した単位は、本学部の定める基準に従って、卒業に必要な単位として認定される場合があります。
- (6) コア(教養)科目及び専門科目等履修のため、3年以上在学しなければならない場合があります。
- (7) 卒業に必要な単位を修得した者については、人間生活学科は学士(生活科学)、心理学科は学士(心理学)の学位を授与します。

2. 募集学科等の授業科目

学 科 ・ 主プログラム		主 な 専 門 教 育 科 目
人間生活学科	生活社会科学	家族法、生活法学、生活政治学、生活経済学、消費者経済学、労働経済学総論、社会福祉学、家族社会学 他
	生活文化学	服飾史論、生活造形論、比較生活文化論、民俗文化史論、現代文化論、民俗学、保育デザイン論 他
心理学科		概論(認知心理学、発達心理学、教育心理学、社会心理学、臨床心理学) 心理統計法、心理学基礎実験演習、心理学基礎実践演習、質問紙法、質的研究法、心理臨床実習Ⅰ・Ⅱ、心理職の職業倫理、卒業論文 他

※上記授業科目以外に、専門教育科目が多数開講されています。

学科の受入方針

【人間生活学科】

本学科では、豊かな人間生活の実現を担う人材の育成を、「生活社会科学」、「生活文化学」という相互に関連する 2 つのアプローチを通して追求します。①生活社会科学:地域社会から国際社会まで、多元的な社会環境を視野に入れて、家族、消費者、女性、高齢者、子ども、制度と政策の問題などの生活と社会及びその関係についての社会科学的視点から分析し、政策の立案・提言を探究します。②生活文化学:人間にとって最も身近な服飾と住居、工芸、デザインなどの生活造形を生み出し、子どもを育てきた生活文化の歴史と現在について、比較文化的・民俗学的・歴史学的・保育学的視点から考察し、理解を深めます。これらの人間生活に関わる諸課題に関心があり、問題意識と研究意欲を持っている人、錯綜する現代の生活状況の中で、人間性を重視した社会を築くために貢献したいと考えている人、潤いのある生活を実現しようという熱意を持っている人を歓迎します。

編入学試験では、短期大学、高等専門学校、他大学学部などで勉強を進める中で、あるいは社会人として経験を積む中で、さらに人間生活に関する専門知識を求め、発展させようとする問題意識と具体的な研究課題をもった人を期待しています。選抜方法は学力検査(筆記試験:人文科学、社会科学などに関する基礎知識)及び成績証明書などを総合して第1次選考合格者を判定し、第1次選考合格者に第2次選考(口述試験)を行い最終合格者を決定します。

【心理学科】

心理学は、人間の心理的プロセスを科学的に解明し、エビデンスに基づいて人々の生活する環境や社会の課題解決を目指す学問領域です。この目的を理解して、人間の行動と心に関する科学的な見方と深い洞察力を磨き、現代の生活環境や社会の諸問題に取り組む研究意欲のある人、心の発達や健康への心理臨床的支援を行うことで社会に貢献しようという熱意のある人の進学を歓迎します。

特に編入学試験では、短期大学、高等専門学校、他大学学部において勉強を進める中で、あるいは社会人として経験を積む中で、さらに人間の心理や行動に関する知識と探究を積極的に求め、問題意識、あるいは具体的な研究課題をもった人を期待しています。

選抜方法は筆記試験(心理学などに関する基礎知識)及び成績証明書などを総合して第1次選考合格者を判定し、第1次選考合格者に第2次選考(口述試験)を行い最終合格者を決定します。

I. 一般入試

1. 募集人員

学 科	主プログラム	募集人員(名)※
人間生活学科	生活社会科学	4
	生活文化学	
心理学科		3

※一般入試、社会人特別入試をあわせた数

2. 出願資格

次のいずれかに該当する女子とする。

- (1) 大学を卒業した者及び令和7年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 学校教育法(昭和22年法律第26号)に基づき設置された短期大学を卒業した者及び令和7年3月までに卒業見込みの者
- (4) 学校教育法(昭和22年法律第26号)に基づき設置された高等専門学校を卒業した者及び令和7年3月までに卒業見込みの者
- (5) 学校教育法(昭和22年法律第26号)に基づき設置された大学において、令和7年3月31日までに2年以上(休学期間を除く)在学し、62単位以上修得済み又は修得見込みの者(本学在学中の者については令和7年3月本学卒業見込みの者に限る。)
- (6) 外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。)
- (7) 外国において、学校教育における14年以上の課程を修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者

(注)外国の学校に在籍している者又は外国の学校を卒業した者で、本選抜に出願しようとする者は、資格の確認のため、事前に入試課へ必ず問い合わせのうえ、**令和6年8月23日(金)**までに到着するよう審査書類を郵送してください。**期限までに到着しない場合は、出願を受理できません。**

3. 出願手続

(1) 出願期間

令和6年9月10日(火)から9月12日(木)まで【必着】

ただし、9月11日(水)以前の発信局消印のある書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理する。

(2) 出願方法

角形2号封筒に提出書類を一括して封入し、本学入試課ホームページの「学部募集要項」からダウンロード、印刷した封筒貼付用宛名シートを貼り付けて、「書留速達」で下記宛てに郵送すること。

〔送付先〕 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号 お茶の水女子大学入試課

(注1) 検定料の支払い期限は、出願締切日の午前9時である。収納証明書又は受領書を提出書類に同封する必要があるため、期限に注意すること。

(注2) 提出書類を受理したことを、志願者に通知はしない。提出書類の配達状況は郵便局の郵便追跡サービスで確認すること。

(注3) 本学で出願を確認後、出願期間の最終日から3営業日以内に受験票と受験者心得を発送する。内容を確認の上、試験当日に必ず持参すること。

(3) 提出書類等

志願者名票・写真票・受験票※	本学所定の用紙
履歴書※	本学所定の用紙
志望理由書※	本学所定の用紙
卒業(見込)証明書 在学証明書 退学(在籍)証明書	左記のうちいずれか1通 退学(在籍)証明書については、在学期間が確認できるものであること。
成績証明書	出身大学等の長が作成したもの。
単位修得見込証明書	出願資格(5)に基づいて出願する者で、既修単位が62に満たない者は、62単位以上修得見込であることがわかる証明書を提出すること。 出身大学で作成していない場合は、履修登録科目一覧表等の単位数の記載されているものの写しや、62単位以上修得予定であることがわかる書類を自作して提出すること。 履修登録期間前の科目については、履修予定科目一覧表を提出すること。
外国語検定試験のスコア	外国語検定試験(TOEFLあるいはTOEIC Listening & Reading Testのいずれか)の受験を 必須 とし、そのスコアを提出すること。(14ページを参照。)
検定料 (収納証明書又は受領書)	30,000円(手数料別途) コンビニエンスストアでの払込に限る。支払方法については17ページを参照。「収納証明書」又は「受領書」は、志願者名票裏面に貼付すること。 払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。 1. 検定料を振込んだが本学に出願しなかった、又は出願が受理されなかった場合 2. 入学検定料を誤って二重に振込んだ、又は多く振り込んだ場合 検定料は出願者からの返還請求に基づき返還するので、上記の返還事由に該当する場合には、令和6年10月30日(水)までにお茶の水女子大学入試課に請求すること。(出願した後に受験を取りやめた場合は、返還事由に該当しない。)
宛名票(4枚)※	受験票の返送及び合格通知等の送付に使用するので、確実に連絡が取れる住所を記入すること。4枚全てに記入すること。

※志願者名票・写真票・受験票、志望理由書、履歴書、宛名票は、本学入試課ホームページの「学部募集要項」からダウンロード、印刷すること。

(注1)TOEFL、TOEIC については、団体特別受験制度(TOEFL-ITP、TOEIC-IP)のスコアは認めない。
 (注2)公式認定証スコアの原本を提出する。本学入学試験日から遡り2年以内に受験したものを有効とする。
 (注3)TOEIC については、公式認定証(紙)の原本を提出することを原則とするが、A4 判に印刷したデジタル公式認定証も有効とする。

【TOEFL スコア票の提出方法】

TOEFL テストのスコアは、TOEFL-iBT のスコアのみを有効とする。TOEFL のスコア票については、下記2点の両方を提出する。

- ①ETS から本学宛に直送される“Official Score Reports”
 (提出にあたっては、ETS にお茶の水女子大学「登録コード7224」宛に送付請求すること。)
- ②ETS から本人宛に送付される“Test Taker Score Report”の写し(出願時に他の書類と同封すること。)

(4) 受験上・修学上の配慮の事前相談について

- ① 本学に入学を志望する者のうち、心身に障がいあるいは疾病があり、受験上の配慮を必要とする者(点字又は代筆による解答を希望する者を含む)については、出願期間前に入試課に申し出ていただき、令和6年8月23日(金)までに「受験上の配慮事前相談申請書」「医師の診断書」等をご提出ください。なお、受験上の配慮を講じる必要はないまでも、修学上の不安等を感じる者も、同様に申し出てください。
- ② 本学の「学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、真摯な夢の実現の場として存在する」というミッションから、自身の性自認にもとづき、女子大学で学ぶことを希望する者を 2020(令和2)年4月入学者から受け入れることとしました。戸籍又はパスポートの性別と性自認が異なっている者については、入学後の学生生活をサポートするために、通称名や更衣室の使用などについて、あらかじめ情報を提供したいと考えていますので、令和6年6月28日(金)までに必ず入試課に申し出てください。その際に、「出願申出書」及び「住民票又はパスポートの写し」等を提出していただき、出願資格等の確認をいたしますが、申出によって、合否判定の際に不利に取り扱われることはありません。

4. 選抜方法(一般入試・社会人特別入試 共通)

学力検査(筆記試験)及び成績証明書等を総合して第1次選考合格者を判定し、第1次選考合格者に対し、第2次選考(口述試験)を行い、第1次・第2次選考の結果を総合して最終合格者を決定する。

○第1次選考(筆記試験) 令和6年10月5日(土)

学 科	主プログラム	試験科目	試 験 時 間
人間生活学科	生活社会科学	社会科学に関する基礎知識	10:00～11:30
	生活文化学	人文科学に関する基礎知識	
心理学科		心理学に関する基礎知識	

○第2次選考(口述試験) 令和6年10月30日(水) 10時30分～

Ⅱ. 社会人特別入試

1. 募集人員

生活科学部一般入試の募集人員(12ページ)を参照してください。

2. 出願資格

入学時まで社会人としての経験を3年以上有し、次のいずれかに該当する女子とする。

- (1) 大学を卒業した者又は学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)に基づき設置された大学に2年以上(休学期間を除く)在籍し、62 単位以上修得した者
- (2) 学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)に基づき設置された短期大学を卒業した者
- (3) 学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)に基づき設置された高等専門学校を卒業した者
- (4) 外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者(学校教育法第 90 条第1項に規定する者に限る。)
- (5) 外国において、学校教育における 14 年以上の課程を修了した者

(注)外国の学校に在籍している者又は外国の学校を卒業した者で、本選抜に出願しようとする者は、資格の確認のため、事前に入試課へ必ず問い合わせのうえ、**令和6年8月23日(金)**までに到着するよう審査書類を郵送してください。**期限までに到着しない場合は、出願を受理できません。**

なお、入学時において現職のまま入学しようとする者は、入学手続の際に企業等の所属長が作成した入学承諾書(様式任意)を提出すること。

3. 出願手続

(1) 出願期間

令和6年9月10日(火)から9月12日(木)まで【必着】

ただし、9月11日(水)以前の発信局消印のある書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理する。

(2) 出願方法

角形2号封筒に提出書類を一括して封入し、本学入試課ホームページの「学部募集要項」からダウンロード、印刷した封筒貼付宛名シートを貼り付けて、「書留速達」で下記宛てに郵送すること。

〔送付先〕 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号 お茶の水女子大学入試課

(注1)検定料の支払い期限は、出願締切日の午前9時である。収納証明書又は受領書を提出書類に同封する必要があるため、期限に注意すること。

(注2)提出書類を受理したことを、志願者に通知はしない。提出書類の配達状況は郵便局の郵便追跡サービスで確認すること。

(注3)本学で出願を確認後、出願期間の最終日から3営業日以内に受験票と受験者心得を発送する。内容を確認の上、試験当日に必ず持参すること。

(3) 提出書類等

志 願 者 名 票 ・ 写 真 票 ・ 受 験 票 ※	本学所定の用紙
履 歴 書 ※	本学所定の用紙
志 望 理 由 書 ※	本学所定の用紙。社会人としての活動(収入を伴わない活動を含む。)と関連させて志望動機を書くこと。
卒 業 証 明 書 又 は 退 学 (在 籍) 証 明 書	左記のうちいずれか1通 退学(在籍)証明書については、在学期間が確認できるものであること。
成 績 証 明 書	出身大学等の長が作成したもの。
在 職 証 明 書	在職中の者は在職証明書を提出すること。(様式は特に定めない。)

外国語検定試験のスコア	外国語検定試験 (TOEFL あるいは TOEIC Listening & Reading Test のいずれか) の受験を 必須 とし、そのスコアを提出すること。(下記を参照。)
検 定 料 (収納証明書又は受領書)	30,000円(手数料別途) コンビニエンスストアでの払込に限る。支払方法は17ページを参照。 「収納証明書」又は「受領書」は、志願者名票裏面に貼付すること。 払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。 1. 検定料を振込んだが本学に出願しなかった、又は出願が受理されなかった場合 2. 検定料を誤って二重に振込んだ、又は多く振り込んだ場合 検定料は出願者からの返還請求に基づき返還するので、上記の返還事由に該当する場合には、令和6年10月30日(水)までにお茶の水女子大学入試課に請求すること。(出願した後に受験を取りやめた場合は、返還事由に該当しない。)
宛 名 票 (4 枚) ※	受験票の返送及び合格通知等の送付に使用するので、確実に連絡が取れる住所を記入すること。4枚全てに記入すること。

※志願者名票・写真票・受験票、志望理由書、履歴書、宛名票は、本学入試課ホームページの「学部募集要項」からダウンロード、印刷すること。

- (注1) TOEFL、TOEIC については、団体特別受験制度 (TOEFL-ITP、TOEIC-IP) のスコアは認めない。
(注2) 公式認定証スコアの原本を提出する。本学入学試験日から遡り2年以内に受験したものを有効とする。
(注3) TOEIC については、公式認定証 (紙) の原本を提出することを原則とするが、A4 判に印刷したデジタル公式認定証も有効とする。

【TOEFL スコア票の提出方法】

TOEFL テストのスコアは、TOEFL-iBT のスコアのみを有効とする。TOEFL のスコア票については、下記2点の両方を提出する。

- ①ETS から本学宛に直送される“Official Score Reports”
(提出にあたっては、ETS にお茶の水女子大学「登録コード7224」宛に送付請求すること。)
- ②ETS から本人宛に送付される“Test Taker Score Report”の写し(出願時に他の書類と同封する。)

(4) 受験上・修学上の配慮の事前相談について

生活科学部一般入試の出願手続(14ページ)を参照してください。

4. 選抜方法(一般入試・社会人特別入試 共通)

生活科学部一般入試の選抜方法(14ページ)を参照してください。

お茶の水女子大学 コンビニエンスストアでの入学検定料支払方法のご案内

各入試出願締切日の9時までに操作してください

下記のコンビニ端末にてお支払いください

各入試の出願期間1カ月前より、お支払いいただけます。

1 お申込み

セブン-イレブン
マルチコピー機

<https://www.sej.co.jp/services/multicopy>
最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「**学び・教育**」よりお申込みください。



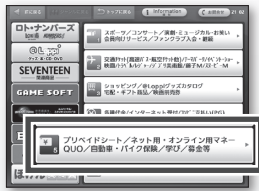
学び・教育
↓
入学検定料等支払

LAWSON Loppi **MINISTOP Loppi**

<https://www.lawson.co.jp>
<https://www.ministop.co.jp>
最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「**各種サービスメニュー**」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン
↓
学び・教育・各種検定試験
↓
大学・短大・専門・小・中・高校等お支払い

あなたと、コンビニに、
FamilyMart

マルチコピー機

<https://www.family.co.jp>
最寄りの「ファミリーマート」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「**保険／学び・教育**」よりお申込みください。



保険／学び・教育
↓
学び・教育
↓
大学・短大・大学院 入学検定料支払いサービス

お茶の水女子大学 または お茶の水女子大学大学院 をタッチし、申込情報を入力して「**払込票／申込券**」を発券ください。

*画面ボタンデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 お支払い

①コンビニのレジでお支払いください。 端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi、マルチコピー機)が出力されますので、30分以内にレジにてお支払いください。

*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

(セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ)

②お支払い後**チケットとレシート**の2種類をお受け取りください。

「取扱明細書」(マルチコピー機)または「払込受領証」(Loppi)。



(ファミリーマート)

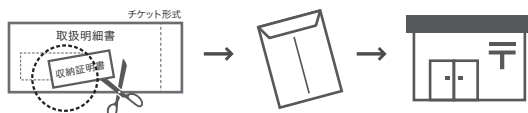
②お支払い後**レシート(受領書)**をお受け取りください。



3 出願

「取扱明細書」または「払込受領証」の「**収納証明書**」部分を切り取るか、または受領書(レシート)を願書裏面等の所定の位置に貼り付け、出願書類とともに郵送してください。

貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある期は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。



【入試に関するお問い合わせ先】 お茶の水女子大学 入試課 TEL 03-5978-5151(学部入試) TEL 03-5978-5697(大学院入試)

(受付時間)月曜～金曜 9:00～17:00 ※土曜・日曜・祝日・年末年始を除く

【操作などのお問い合わせ先】 学び・教育サポートセンター <https://e-apply.jp/> ※コンビニ店頭ではお応えできません。

合格発表等(文教育学部・生活科学部共通)

1. 合格者の発表

(1)第1次選考合格発表

令和6年10月10日(木)正午

本学南門掲示板に第1次選考合格者の受験番号を掲示するとともに、第1次選考合格者には「第1次選考合格通知書」を送付します。

また、本学入試課ホームページにも第1次選考合格者の受験番号を掲載します。

(2)第2次選考合格発表

令和6年11月14日(木)正午

本学南門掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに合格者には「合格通知書」及び「入学手続関係書類」を送付します。

なお、同時刻に本学入試課ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。

電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

入試課ホームページURL <https://www.ao.ocha.ac.jp/>

2. 入学手続

入学手続の詳細は、合格通知及びホームページにてお知らせします。

https://www.ao.ocha.ac.jp/admission_procedure/index.html

(1) 入学料及び授業料

① 入学料:282,000円(予定額)

② 授業料年額:535,800円(半期分 267,900円)(予定額)

(注1)入学手続時に入学料と授業料(前期分又は前期後期分)を併せて納入することもできる。

(注2)入学手続完了者が3月31日までに入学を辞退した場合には、納入者の申出により入学手続時に納入した当該授業料相当額を返還する。なお、入学料は返還しない。

(注3)入学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用される。

(注4)入学料及び授業料の減免については、21 ページの「2. 入学料減免と授業料減免」を参照のこと。

(2) 入学手続期間

令和6年12月13日(金)～12月19日(木)

インターネット上の手続及び郵送により行います。

(注)入学手続後であっても、入学資格(各「出願資格」に定める要件)を満たせない場合は、入学許可が得られません。

3. 個人情報及び試験成績の利用について

(1) 個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人お茶の水女子大学個人情報の管理に関する規則」に基づいて適切に取り扱います。

(2) 大学が取得した氏名、生年月日、住所、成績及び学修状況等の個人情報は、入学後の教務関係(学籍、修学指導等)、学生支援関係(学生証の発行、健康管理、授業料免除、奨学金の選考等)及び授業料等に関する業務を行うために必要な範囲内で利用します。

(3) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試の改善や志願動向の調査・分析及びこれらに付随する業務を行うために必要な範囲内で利用します。調査・分析等結果の発表に際しては個人が特定できないように処理します。

(4) お茶の水女子大学は、「個人情報の保護に関する法律」に規定されている場合を除き、本人の同意を得ることなく今回入手した個人情報を他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

4. 注意事項

- (1) 出願後の書類の変更・返却及び検定料の払戻は行いません。
- (2) 別途、この『第3年次編入学学生募集要項 文教育学部/生活科学部(人間生活学科、心理学科)』を請求する場合は、請求する封筒の表に『第3年次編入学学生募集要項請求 文教育学部/生活科学部(人間生活学科、心理学科)』と朱書し、以下①②を同封し、お茶の水女子大学入試課に郵送してください。
 - ① 返信用の封筒(角形2号 24 cm×33.2 cm)…ゆうメール料金 215 円分(速達を利用の場合は 545 円分)の切手を貼って、宛名を明記してください。
 - ② 請求票(本学ウェブサイト「各募集要項等 発行予定時期・請求方法」よりダウンロード可能)…必要事項を記入してください。

5. 大学案内の請求

各学部・学科の紹介等は、「お茶の水女子大学大学案内」を参照してください。大学案内はテレメールで請求できます。<https://telemail.jp> にアクセスし、ガイダンスに従って請求してください。大学案内の資料請求番号は **562372** です。

また、入試課ホームページ(<https://www.ao.ocha.ac.jp/>)からも請求できます。

なお、テレメールでの請求に関しては、テレメールカスタマーセンター(電話 050-8601-0102)(9:30～18:00)にお問い合わせください。



6. 令和6年度第3年次編入学試験実施状況

<文教育学部>

学 科	主プログラム	募 集 人 員		志 願 者 数		合 格 者 数		入 学 者 数	
		一般	社会人	一般	社会人	一般	社会人	一般	社会人
言語文化学科	日本語・日本文学	6		1	1	0	0	0	0
	中国語圏言語文化			1	0	0	0	0	0
	英語圏言語文化			12	0	3	0	3	0
	仏語圏言語文化			1	1	1	1	1	1
人間社会科学科	社会学	4		9	0	2	0	2	0
	子ども学			7	3	2	0	2	0
合 計		10		31	5	8	1	8	1

<生活科学部>

学 科	主プログラム	募 集 人 員		志 願 者 数		合 格 者 数		入 学 者 数	
		一般	社会人	一般	社会人	一般	社会人	一般	社会人
人間環境科学科	—	3		4	1	2	0	2	0
人間生活学科	生活社会科学	4		6	0	3	0	3	0
	生活文化学			2	0	0	0	0	0
心理学科	—	3		14	2	3	0	3	0
合 計		10		26	3	8	0	8	0

7. 令和8年度第3年次編入学試験に関する変更の予告

変更の予定はなし。

奨学金、入学料減免、授業料減免、学生寮等

1. 奨学金

人物・学業ともに優秀でかつ経済的理由により修学に困難があると認められる者には選考の上、日本学生支援機構から奨学金が給付・貸与されます。現在、給付奨学金、第一種奨学金(無利子)及び第二種奨学金(有利子)の3種類があります。新たに給付・貸与を希望する者は4月と10月に募集を行いますので学生・キャリア支援課(Tel03-5978-5148)に照会してください。

外国人留学生の奨学金については、国際課(Tel03-5978-5143)に照会してください。

他に本学に設置された保育所を利用する学生に保育料の一部を援助する育児支援奨学金があります。

2. 入学料減免と授業料減免

注意事項 入学料及び授業料を納入済の者は減免・猶予の対象となりません。

(1) 入学料減免の制度と申請資格について

① 入学料減免の対象者

次のa～cに該当する特別な事情により納入が著しく困難であると認められる者。

- a 入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者(以下「学資負担者」という。)が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災難を受けたことにより、入学料の納入が著しく困難であると認められる者
- b 独立行政法人日本学生支援機構の給付奨学金の給付対象となる者
- c aに準ずる場合であって、相当の事由があると認められる者

② 減免額について

入学料の減免が必要と認められた者については、納入すべき入学料の全額又は一部を減免します。不許可となる場合もあります。

③ 申請時期

一般選抜前期日程合格者の入学手続期間内(3月中旬)に所定の申請を行った者について選考をします。また、入学料徴収猶予(延納)の制度もあります。猶予については(3)を参照してください。

(2) 授業料減免の制度と申請資格について

① 授業料減免の対象者

- a 入学料減免のbと同様
- b 経済的理由により、授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者。

② 減免額について

授業料の減免が必要と認められた者については、納入すべき授業料の全額又は一部を減免します。不許可となる場合もあります。

③ 申請時期

減免は年度を2期に分け半期分ごとに選考をします。(申請時期は3月と9月)

(3) 入学料及び授業料の徴収猶予と申請資格について

① 徴収猶予の対象者

経済的理由により、入学料又は授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者。又は、次のa、bに該当する特別な事情により納入が著しく困難であると認められる者。

- a 本学学生又はその学資負担者が災害を受け、納入困難と認められる場合
- b その他やむを得ない事情があると認められる場合

② 猶予期間について

入学料又は授業料の徴収猶予が必要と認められた者については、9月30日まで猶予されます。(9月30日が土、日祝日の場合は、直前の平日までとなります。)

③ 申請時期

入学料徴収猶予 一般選抜前期日程合格者の入学手続期間内(3月中旬)

授業料徴収猶予 3月1日～4月10日(4月10日が土、日祝日の場合は直前の平日までとなります。)

3. 学生寮

本学には、学部生の入居できる以下の学生寮があります。本学ホームページには写真付きで紹介がありますので、そちらもご覧ください。入寮申請日程については、本学ホームページをご確認願います。

施設概要

寮名称	所在地	定員	居室	食事	寮費(1か月)
音羽館	お茶の水女子大学 大塚キャンパス	450 人	個室	なし	寄宿料 48,800 円 共益費 5,000 円 その他光熱水費等

寄宿料等については予定額であり、変動する可能性があります。

4. 入学料・授業料減免と学生寮の申請書類について

(1) 申請書の入手方法

お茶の水女子大学ホームページからダウンロードしてください。

①入学料及び授業料の減免・徴収猶予制度について

<https://www.ocha.ac.jp/campuslife/info/exemption.html>

②学生寮について

<https://www.ocha.ac.jp/campuslife/lodgings/index.html>

(2) 問合せ先

学生・キャリア支援課 入学料減免・授業料減免・学生寮担当 TEL 03-5978-2646

メールアドレス gakusei@cc.ocha.ac.jp

5. アパート等の紹介

大学周辺のアパート等の情報については、いつでも学生・キャリア支援課で資料を閲覧することができますが、物件数等は必ずしも十分とはいえませんので、親戚知人等の安心できる住居を確保するよう心掛けてください。また、本学の生協も民間の業者と提携して、学生向けの物件の紹介を行っています。

○お茶の水女子大学交通案内

最寄り駅等	地下鉄丸ノ内線	茗荷谷駅 から 徒歩 約7分
	地下鉄有楽町線	護国寺駅(5番口)から 徒歩 約8分
	都営バス	大塚2丁目停留所前

◎JR池袋駅から

地下鉄利用の場合

丸ノ内線・池袋駅〔新宿、荻窪方面行〕——約5分——→ 茗荷谷駅 下車
有楽町線・池袋駅〔新木場方面行〕——約4分——→ 護国寺駅 下車

都営バス利用の場合

池袋駅東口乗車〔東京ドームシティ行〕——約20分——→ 大塚2丁目停留所下車
(都02乙系統)

◎JR大塚駅から

都営バス利用の場合

大塚駅南口乗車〔錦糸町駅前行〕——約10分——→ 大塚2丁目停留所下車
(都02系統)

◎JR東京駅又はJR御茶ノ水駅から

地下鉄利用の場合

丸ノ内線・東京駅〔池袋行〕——約5分—— 御茶ノ水駅 ——約6分——→ 茗荷谷駅下車



入学者選抜に関する問合せ先

お茶の水女子大学入試課

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号

TEL 03-5978-5151・5152

FAX 03-5978-5895

E-mail nyushi@cc.ocha.ac.jp

月曜日～金曜日(祝日は除く)9時～17時

※ 問合せはできるだけ志願者本人が行ってください

入試課ホームページURL (<https://www.ao.ocha.ac.jp/>)